

週刊

# 愛知民報

2022年  
1月23日  
第2570号

発行所 **愛知民報社**

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号  
愛知あかつき会館内  
☎(052) 251-2925 F A X(052) 261-6063  
定価 月 400円 郵送料 168円 1部 100円  
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）  
1966年7月31日第三種郵便物認可

県議補選必勝に向けての決意を語る（左から）もとむら 伸子衆院議員、しもおく奈歩県議予定候補、斎藤啓豊橋 市議・東三地区委員長 16日、豊橋駅前



28日告示、2月6日投開票で行われる愛知県議 豊橋市区補選（被選挙数2）はオミクロン株が急速 に拡大しコロナ感染の第6波の中での選挙となり ます。日本共産党愛知県委員会は自宅療養者への支 援や無料PCR等検査の実施を要求。このほど無料 PCR等検査が実現しました。共産党から補選に立 候補を予定する前県議の、しもおく奈歩さんは豊橋 市民と愛知県民の命と暮らしをまもる大義の旗を立て て選挙に臨みます。愛知県、東三河、豊橋市の党 と後援会はビラ配布やハンドマイク宣伝など支援を 強化。「折り入って」の支持拡大、党勢拡大に全力。 15日には、たけだ良介参院議員、16日には、もと むら伸子衆院議員が豊橋に入りました。

## 無料PCR等 検査実現

# 県民要求の推進力

### 愛知県議豊橋市区補選 28日告示、2月6日投開票

# しもおくさん必ず



### オミクロン株拡大で 日本共産党県委

## 県に緊急申し入れ

豊橋市議団 「市政変えるためにも」

「県議会の議席を失って県民の声を議会に届けられな い。悔しい思いでいっぱい だった。補選という絶好の チャンスをものにして絶対に 議会に戻る」――豊橋市日本 共産党後援会が16日におこ なったついで、しもおく奈 歩予定候補が訴えました。 齋藤啓、鈴木みさ子、中西 光江の3豊橋市議は、市政に おいて市民要求を実現するう えでの共産党県議の必要性を 語りました。齋藤氏は、「コ ロナ感染で宿泊療養施設に入

れなかった人が豊橋にもい た。宿泊療養施設を増やし命 と暮らしを大切にすることを、鈴木氏は、「市議会が高 すぎる国民健康保険税の引き 下げを求めているが、国保は 都道府県化されているので、 県議会でも追及する必要があ る」、中西氏は「保育士の処 遇改善、小学校給食無償化推 進のためにも県の応援が必 要」と述べました。 もとむら伸子衆院議員が県 議補選勝利と参院選挙躍進に向 け支持を呼びかけました。

### 「まん延防止」適用へ

新型コロナウイルスの緊急申し入れを大村の委員が今年になって感じました。 染が急拡大しています。すやま初美党県副委 員長・党県新型コロナ 対策本部 委員長・党県新型コロナ 対策本部 委員長・党県新型コロナ 対策本部 委員長（参院愛知選挙区予 定候補）、わしの恵子、 等緊急措置の適用を しまおく奈歩の両前県 議らが参加。県側は県 庁の廊下での文書受け 取りという対応でし た。 要望は、3回目のワ ンアウト感染拡大か ら県民の命を守るため

クチン接種を最大限迅速に行うとともに協力を要請する医療機関への財政支援を国に求めること、県が1月から実施している個人向けPCR等検査無料事業の周知徹底と実施力所を増やすこと、高齢者施設や福祉施設の無料検査の再開、陽性者を入院や宿泊療養施設で隔離保護することの徹底、宿泊療養施設確保などを含む7項目。 しもおく氏は「東三河地域で人口が多い豊橋市に宿泊療養施設がない」ことを指摘し、増設を求めました。

## 1期目の実績（追加）

### ☆県独自の被災者支援制度実現

2017年9月議会本会議で、市内で住宅3棟が損壊した竜巻被害を取り上げ、国制度「10世帯以上の全壊」の対象にならない事例を救済する県制度を要求。18年度予算で実現。

### ☆柳生川の豪雨・浸水対策前進

2017年9月議会本会議で、県が管理する豊橋市内の柳生（やぎゅう）川の豪雨・浸水対策を要求。鉄道橋3橋と道路橋4橋が集中し河道拡幅が困難な500㍍の区間に「地下河川」を整備へ。21年3月に起工。



柳生川＝16日、豊橋市